

平成26年度

事務事業評価表 A (平成25年度の実績評価)

記入年月日
平成 26 年 4 月 10 日

Table with columns for '事務事業名' (Project Name), '区分' (Category), '事務事業No.' (Project No.), and '課内No.' (Section No.). Includes details for '藍工房管理運営事業' and '生涯学習・芸術文化活動の推進'.

[Do] 1. 事務事業の現状把握(その1) 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標

Table with 2 main columns: ① 事務事業の概要(事務事業の内容) and ② 担当者が行う業務の内容、実際に行った主な活動. Includes sub-sections for '手段', '目的', and '結果'.

(2) 指標値の推移

Table showing trend of indicator values from 2013 to 2019. Columns include '区分' (Category), '単位' (Unit), and years 23-29. Rows include ⑥活動指標, ⑦対象指標, ⑧成果指標, and ⑨上位成果指標.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing trend of input volume (business expenses) from 2013 to 2019. Columns include '区分' (Category), '単位' (Unit), and years 23-29. Rows include '事業費' (Business Expenses) and '人件費' (Personnel Expenses).

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content of the fiscal year. Includes a note: '※ 下記に該当する事業は年度ごとの事業内容を記入する' and a list of project categories with an arrow pointing to the right.

事務事業名	藍工房管理運営事業	事務事業No.	30223225	所属課	生涯学習課
-------	-----------	---------	----------	-----	-------

[Do] 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 衰退しつつあった藍染めを保存伝承する目的でふるさと文化再興基金を使い、藍染め講座を行う中で真壁藍保存会が設立。実際に紺屋だった家屋を修繕し、土地を利用し真壁藍保存会に管理運営を委託する。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 化学染料を一切使っていない天然藍のため、日本古来の藍色の美しさを認識し天然藍を維持する材料費が高価なため染色代が高く、希少価値があり高級感がある。

[See] 2. 評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 藍染めの体験をすることで、桜川市の伝統工芸に対して認識と関心が高まる。また、総合計画の伝統文化の保存伝承につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市の伝統文化として捉えている為、公共性に取り組む必要がある。また、真壁藍保存会により天然藍の管理技術が向上しているが引き続き、人材育成に支援していく必要がある。
	③対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 市民および市外の方を対象として藍染め講座・藍染め体験を実施しているので、機会が均等である。また、県内でも本藍を扱う数少ないじょうであり、意図も適切である。
有効性	④成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 真壁藍保存会の管理技術、藍染技術の向上また、デザインセンスの向上により現在も体験学習や講座希望者の人数の増加など年齢層に変化がみられる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 本藍の管理および、藍染め体験や講座を開催することが出来ないことで、市民の文化活動の停滞や保存伝承が難しくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費のうち、賃金(藍保存のための藍かき代)と高熱費のみにしたので難しい。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 講座、体験や事業全般を保存会が行っているため、削減の余地がない。
公平性	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民誰でも利用可能であり、受益の負担は公平である。

[Plan] 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	保存会が発足して10年が経過し講座生体験者も少しずつ人数が増えているが、必ずしも藍染め技術、安定した保存技術を保持しているとは言えない。市内の藍保存会会員が少なく、監管理(藍かき)が難しい面があり、研修をし技術の向上を図る必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
桜川市の伝統工芸として保存伝承していくためには、藍の管理や藍染め技術の向上、デザイン独自性を持たせることが必要。																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
藍は生きているのでその管理技術の向上が望まれるところであり、定期的に研修を行っている。																						

[Check] 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>